

福島市ホームタウンデーと初の合同企画
NOK スペシャルマッチ「福島ユナイテッド FC vs ガイナーレ鳥取」
9月15日（日）開催

福島ユナイテッド FC を応援して福島を盛り上げよう！

NOK 株式会社（本社：東京都港区芝大門、代表取締役 社長執行役員 グループ CEO：鶴 正雄、以下「NOK」）は、NOKがマッチスポンサーとなる、明治安田生命 J3 リーグ第 28 節「実・湧・満・彩（みわくまんさい）福島市ホームタウンデー×NOK スペシャルマッチ 福島ユナイテッド FC vs ガイナーレ鳥取」を9月15日(日)にとうほう・みんなのスタジアム(福島県福島市)にて開催いたします。本試合は、福島市と協力し、福島市ホームタウンデーと初の合同開催となります。



©Fukushima United FC

「NOK スペシャルマッチ」は今回で3回目の開催となります。福島に重要な拠点を置く企業として地域の振興を図り、より多くの方にご来場いただいで観戦をさらに楽しんでいただけるよう、本試合限定の入場者プレゼントや楽しい体験ができるイベントを多数用意しています。

福島ユナイテッド FC の熱い戦いを共に応援し、福島を盛り上げましょう。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 CEO オフィス コーポレートアフェアーズ コーポレートコミュニケーション部
TEL:03 - 5405 - 6372 Mail : mb_nok_corporate_affairs@jp.nokgrp.com

■試合概要

- ・日時：2024年9月15日(日) 18:00キックオフ／開場 16:00
- ・会場：とうほう・みんなのスタジアム
福島県福島市佐原字神事場 1
- ・入場チケット：Jリーグチケットにて販売中(<https://www.jleague-ticket.jp/club/fu/>)

■実施イベント

- ・入場者プレゼント(各先着 1,500名)

① NOK×福島市×福島ユナイテッド FC コラボクリアファイル

本試合限定のNOK、福島市、福島ユナイテッド FCのコラボクリアファイルです。福島ユナイテッド FC所属選手のサインをデザインしています。

コラボクリアファイルデザイン
(A4サイズ)



② NOK×福島ユナイテッド FC のコラボレジューシートバッグ

本試合限定のNOKと福島ユナイテッド FCのコラボレジューシートバッグです。半透明のレジューシート素材にNOKのロゴと福島ユナイテッド FCのロゴが入っています。手提げ用と肩掛け用の長さが違う持ち手がついています。



コラボレジューシートバッグ写真

(サイズ：縦 32×横 50×マチ 15cm、不織布の巾着付き)

- ・ポッチャ&モルック体験ブース(NOKと福島市との共同運営)

「すべての人が共にできるスポーツ」として、近年人気の高まっているポッチャとモルックを体験できるブースです。親子、お友達同士で、ぜひご体験ください。



ポッチャ イメージ



モルック イメージ

- ・インドネシア紹介ブース(NOKと福島市との共同運営)

福島市には、100名を超えるインドネシア人が在住しています。地域の方にインドネシア文化に親しんでいただき、国際交流の促進を図るため、福島市と共同でブースを出展します。

ブースでは、市内の食品店のご協力をいただき、インドネシアの食品の販売を行います。また、NOK 福島事業場で働くインドネシア人技能実習生が母国の文化を紹介し、来場される方たちにインドネシアの魅力を伝えます。

- ・NOK製品を使ったゲームブース

NOK 福島事業場でつくっている自動車や機械に使われるオイルシールや、街中にある交通指標「ポストコーン」など、NOKの製品を使い、誰でも楽しく遊べるゲームをご用意しています。

- ・子どもサッカー教室

福島ユナイテッド FC の現役選手による子ども向けのサッカー教室を開催します。

※事前申し込み終了

■福島ユナイテッド FC 協賛について

今年、NOK は福島ユナイテッド FC のオフィシャルクラブパートナーとして、7シーズン目を迎えます。福島県の地域振興に貢献するため、福島事業場創業 50 周年を迎えた 2018 年より協賛しています。特に次世代を担う子どもたちにスポーツの楽しさを知ってもらい、福島ユナイテッド FC のファンになってもらうことで、地元さらに愛着を持ってほしいと考えています。福島ユナイテッド FC を地域の皆さまと共に応援することで、同じ目標を目指す仲間として一体感を醸成し、エネルギーや元気を得られる活動を目指します。

■ NOK 株式会社

NOK グループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げ、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。15 の国と地域に所在するグループ 93 社、約 38,000 人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。自動車をはじめとするモビリティ、PC やスマートフォンに代表される電子機器、OA 機器、医療・ヘルスケア機器、産業用ロボット、そして人工衛星など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供し続けます。